

学校だより



ゆめは大きく

尾張旭市西の野町5丁目1番 <https://www.owariasahi.ed.jp/asahi-e/>

尾張旭市立
旭小学校
第6号
令和2年
11月5日

TEL0561-53-2035

実りの秋

校長 浅野 謙一

11月 霜月を迎えました。朝夕の冷たい空気が秋の深まりを感じさせます。校庭の木々の葉も思い思いの色に染まっています。10月に予定されていた運動会（旭リンピック）、5年生の林間学校、6年生の修学旅行などの大きな行事については、どの行事においても、様々な面において、保護者の皆様方にご理解とご協力をいただき、無事終了することができました。ありがとうございました。

運動会については、土曜開催を平日開催に変更するとともに、開閉会式や種目を減らして、2学年ごとで競技を行ういつものとは違った形にしました。子どもたちは、いつもの運動会とは違う形に少し戸惑いはあったようですが、それぞれの学年の競技に積極的に取り組んでいました。たくさんの保護者の皆様にも参観いただき、子どもたちの頑張る姿を見ていただくことができました。

5年生の林間学校については、今年度から暑い日を避け、宿泊地を変更して、1泊2日で実施する予定でした。結果的には、期日の延期、宿泊を伴わないデイキャンプへの変更となってしまいました。しかし、班で協力してのカレー作りでは、みんなで力を合わせて一つのものを作る難しさや、毎日おいしい食事を食べることができることへの感謝などを感じる事ができたと思います。

6年生の修学旅行については、全国的には中止や日帰り旅行への変更をする学校もありましたが、尾張旭市の小学校については、予定通り1泊2日の京都・奈良への修学旅行を実施することができました。バス、見学地、御殿荘（宿泊場所）では、どこも十分な感染症対策がなされ、安心して見学することができました。やはり「百聞は一見に如かず」実際に見ることで、様々な発見や驚きがあった思い出深い修学旅行になりました。

子どもたちは、これら様々な経験を通して成長していきます。しかし、その成長の過程は山あり谷ありです。ある本に、こんな子育てについてのアドバイスが書かれていました。

子育てでは、大切に育てられたと実感できることが重要です。子どもの特性を理解して、子どもが安心して暮らせる環境を整えましょう。小さなうちはお母さんに愛されたという実感をもつことがいちばん大事です。そうすることで自己肯定感が生まれ、人生を幸せに生きていくことができます。

子どもが苦手なことへの手助けは大事ですが、余計なことを言ったり、やったりしないように気をつけて、できることや得意なことに目をやって、ほめて伸ばしてあげましょう。

ほかの子と比べない子育ては子育ての基本です。その子らしさ、その子のいちばん得意が発揮できればよしとして、子どものできた喜びをお母さんの喜びとして、子育てをしてください。

このアドバイスは、子育てをするお母さんに向けられたものですが、教師にとっても胸に刻むべきことです。学校と家庭がこのことを大切にしながら子どもたちの成長を見守っていければと思います。

林間学校（５年生）

10月12日（月）に5年生が郡上八幡自然園へ行ってきました。本来なら1泊2日で行う予定の林間学校でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響でデイキャンプとなりました。心配された天気も回復し、さわやかな秋晴れの日、みんなで力を合わせて作ったカレーは、格別の味がし、団結力も高まりました。



【サンプル作り体験】



【昼食のカレー】



【かまどでご飯作り】

修学旅行（６年生）

10月23日（木）24日（金）に6年生が修学旅行で京都・奈良へ行ってきました。雨が心配されていましたが、東大寺、奈良公園以外では、小雨は降ったもののほとんど傘を差すこともなく見学することができました。3台のバスに分かれての見学でしたが、思い出深い二日間になりました。



【二条城】



【奈良公園】



【友禅染体験】

お知らせとお願い

【冬季休業日と学校閉校日】

今年度は、12月26日（土）～1月6日（水）が冬季休業日となります。また、12月28日（火）と1月4日（月）は、学校閉校日です。

【土曜参観】

2月13日（土）に予定しています。今のところは実施する予定ですが、新型コロナウイルス感染症の状況によっては、中止することもあります。

【地域のおじさん・おばさん運動（あいさつ運動）】

10月26日（月）に青少年健全育成会議とPTAのみなさんによるあいさつ運動がありました。お互いにあいさつをすると心が元気になります。これからもあいさつのできる子どもたちを地域の皆様や保護者の方とともに育てていくことができるようご協力をよろしくお願いします。

【メダカの放流】

地域の方にご協力をいただいて、1年生が、ビオトープにメダカを放流しました。メダカが気持ちよく泳ぐことができるように、ビオトープの中には、手やものを入れしないでください。